

石坂産業のくぬぎの森環境塾

- 自然を五感で学べる環境学習 -

「おもてなし企業・全国50選」選出企業による埼玉県で唯一「体験の機会の場」認証プログラム

昔から人と自然との調和によって守られた豊かな環境を持続させる活動の紹介や、五感を使って「くぬぎの森の散歩コース」を体験することで、生物多様性(生き物と環境との関わり)を学び、自然と社会の調和を考え、自然環境の大切さを知つてもらえるようなプログラムを提供しています。

産業廃棄物処理のトップリーダー

【資源循環100%】を目指す全天候型独立総合リサイクルプラント - 国際ISO5統合マネジメント運用 14001 9001 18001 27001 50001

石坂産業株式会社

〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富線 1589-2
Tel. 049-259-1177 Fax. 049-259-0687
Mail. info@ishizaka-group.co.jp



生物多様性「JHEP」
最高ランク AAA 取得

持続発展に向けた教育、社会貢献に取組んでいます インターネットで検索 石坂産業 検索

は焼却処分や埋め立て処理と違い、セメント原料として受け入れた。災害廃棄物をセメントとして受け入れた。災害



セメントが支える循環型機能大いに貢献

処理

被災地での処理

岩手県と宮城県は着実に、3県内の災害廃棄物な

未端点で419万t(41%)で、県別では岩手県が25%、宮城県が53%で

岩手県は14年3月末までに100%処理完了に向

け、作業を加速する。処理計画に基づき、資材の保管場所の確保や再生利

用先との調整を進める。

岩手県と宮城県は、このように、災害廃棄物の処理が進捗する一方で、被災地での処理が終了する。また、3県の津波堆積物の処理状況は13年5月

とされている。島根県では一部で14年3月

を発表。3県の災害廃棄物は15年9月までに約98万t(うち68%)が95%を終えた。県別では岩手県が57%、宮城県が47%で、4月と比べていずれも約5%ポイント伸びた。

岩手県は14年3月末までに100%処理完了に向

け、作業を加速する。処理計画に基づき、資材の保管場所の確保や再生利

用先との調整を進める。